

～みんなの思いが政治に反映されるよう、声にして歩いてきました～

◆◆□ 11.8国民大集会IN東京・代々木公園 ◆◆□

◆全国から、全商連（私たち民商の親団体）、土建、全労連、全日本民医連、農民連、新日本婦人の会などの主催で、35,000人の仲間が全国から集まりました。



↑千葉民商から参加したみなさん↑

同じ日に沖縄では「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会」が開催されましたが、こちらも21,000人の参加者でした。県民の7割以上が辺野古をはじめ県内移設に反対しています。

昨年秋から今までに非正規労働者の雇い止めは24万4,000人にも及び、年末におかい深刻な事態となっています。銀行の貸し渋り、貸しはがしや下請け切り、下請けたたきで中小企業の倒産が相次ぎ、営業危機がひろがっています。日本の食料自給率は41%となり、農家の経営も立ちゆかなくなっています。

消費税の大増税を許さず、大企業優遇税制など不公平税制の是正を求める運動を前進させ、雇用・暮らしを守るため、大企業優遇の経済対策ではなく国民本位の景気回復のためにも、外需頼みの経済から内需中心へ経済政策を転換しましょう。



↑皆さんからお預かりした署名を提出する鈴木会長↑

集会後、代々木公園から新宿中央公園まで1時間かけて元気よくデモ行進してきました。皆さんの思いを声にして頑張りました。お天気にも恵まれ、無事に行ってくることができました。参加して下さった皆さま、本当に『おつかれさまでした』

また、署名にご協力していただき、ありがとうございました。引き続き、署名を集めていますので、よろしくお願いします。



十一月二〇日、報告会が開かれました。ーさんからは、「仕事おこし」について、民商での建設業に關係する会員同士の情報交換・交流の機会をもったほうがいいのではないか。そのためには交流会に出たものが先頭にたって、役員がもっと勉強する必要があると思った。鈴木会長からは、『千葉市中小業者施策』の制定のための取り組みと働きかけをやっていく必要があるのではないか。Mさんからは、もう大量生産・大量消費の時代が終わり、京都の街並みを見て、自分たちの地域で作って自分たちのお店で売るといふ（地産地産）の時代になるのではないかと思えます。役員レベルでの学習、行動におすがびつけ、民商を大きくしていきたいー

☆一〇月三〇日（土）月）から三日間にかけて、ちば民商からは鈴木会長と青年部のMくん、県連副会長でちば民商の副会長のーさんが参加しました。全国から一五〇〇人を超える中小業者、労働者、地方議員などが集まり、深刻な状況が続くなか、打開の方向や中小企業の発展をめざして熱心に交流・研究をしました。

全国商工交流集会（一N京都）に参加して、業者は宝だ！ふさわしい施策を自治体に求めよう！



発行所 千葉民主商工会 電話 253-3791



次回の「自分の商売を語る会」 十二月七日（月）PM七時半